

省エネ活動に関する問題点と対応について

社内にこんな不安や課題を抱えていませんか？

省エネ活動を行なう上での課題

1. エネルギー管理のスタッフが少なく、誰にも頼めない。
(生産管理等の主業務をしながら、エネルギー管理をしている。)
2. 新たに、第1・2種エネルギー管理指定工場になったが、エネルギー管理の仕組み、ノウハウが蓄積されていないため、どのように対処したらよいか分からない。
3. 定期報告書を作成したが、どのように活用したらよいか分からない。
4. ISO14001を取得したが、目標項目がなくなってきた。
5. 従業員に省コスト・CO₂削減という意識が少ない。
6. 省エネ対策を実施したくても、費用の問題があり、本当に提案どおりの効果があるのか不安である。
7. 省エネ活動に取り組んでもその効果及び対外的メリットがないと思っている。

問題点に対しての「アタック・メイト和歌山」の対応

1. エネルギー管理のスタッフが少なく、誰にも頼めない
2. 新たに、第1・2種エネルギー管理指定工場になったが、エネルギー管理の仕組み、ノウハウが蓄積されていないため、どのように対処したらよいか分からない。
アタックから人材を派遣し、管理標準等の標準類の作成から定期報告書までの全ての資料作成を実施します。また、現状で省エネ的な設備不具合等があれば、機器メーカーと調整して改善方を策定します。

3. 定期報告書を作成したが、どのように活用したらよいか分からない。
アタックのエネルギー専門員が、定期報告書に基づき、活用方法を現場でコンサルします。また、現状で省エネ的な設備不具合等があれば、機器メーカーと調整して改善方を策定します。

4. ISO14001を取得したが、目標項目がなくなってきた。
アタックのISO・エネルギー専門員が訪問・省エネ診断を実施し、省エネ改善項目の作成等を提案・実施します。

5. 従業員に省コスト・CO₂削減という意識が少ない。
アタックのISO・エネルギー専門員が現場に出向き、従業員への教育を実施することにより、省エネ活動は、直接、経費の削減・環境保全につながること認識して頂きます。

6. 省エネ対策を実施したくても、費用の問題があり、本当に提案どおりの効果があるのか不安である。
アタックのエネルギー専門員が、省エネ機器導入計画・効果確認まで行い、企業サイドに立ったコンサルに努めます。

7. 省エネ活動に取り組んでもその効果及び対外的メリットがないと思っている。
実施した省エネ活動のCO₂削減量を(国から認証事業委託を受けた「みずがサステナビリティ認証機構」)で削減CO₂認証を受けるシステムを活用します。
このことにより、削減したCO₂削減量の公表がされ、企業PRの活用、今後のCO₂取引の活用が図れます。(中小企業、医療法人、宗教法人、学校法人が対象)